



マット状セダム苗

「スノーネオプラント」の特徴と利用法

雪印種苗(株) 千葉研究農場

作物研究室 立花 正

1 はじめに

エアコンの排熱やアスファルト、コンクリートによる太陽熱の照り返しなどによって、都市部の気温の上昇が年々激しくなっており、気象庁によると東京都の年平均気温が、ここ100年の間に約3℃上昇したと報告されています。

このような都市部で問題になっている「ヒートアイランド現象」の緩和策として、屋上や屋根（ルーフ）に芝草などの植物を植栽する「屋上緑化」「ルーフ緑化」が普及しており、特に、東京都においては2000年4月から「一定面積以上の新築ビルには、屋上の緑化可能面積の20%以上を緑化する」という行政指導にも乗り出し、また、仙台市や金沢市では屋上緑化に対して助成金制度も創設し、積極的に緑化を推進しています。

このように、屋上緑化の必要性に対して認識が深まりつつありますが、実際に施工する上で建物に対する加重や、基盤土壌に何をを使うかなどの多くの課題もあり、その一つに植栽する植物の選択も挙げられています。

ここでは、屋上のみならずマンションなどのベ



写真1 街路樹の下で利用されるスノーネオプラント
メキシコマンネングサ



写真2 街路樹の下で利用されるスノーネオプラント
サカサマンネングサ

ランダや道路の中央分離帯等に植栽する植物として注目され、施工例が多くなっているマット状セダム苗「スノーネオプラント」についてご紹介します。

2 セダム (Sedum) とは？

ベンケイソウ科の宿根草で別名「万年草」とか「弁慶草」とも呼ばれています。多くは肉質の草本で、オーストラリアを除く全世界に分布しているといわれ、約30属1,300種が確認されています。

俗名のセダムはラテン語の Sedrere(座る)に由来すると言われ、乾燥が激しく、養分が少ない岩の上などのように、他の植物が生育できないような環境下でも生育できる生態を示しています。ヨーロッパでは屋根へ緑化する場合にも多く利用され、日本においても原産の種類があることから、古くから花壇の縁取りや石垣の緑化植物として利用される場面が見うけられます。

セダムの大きな特徴は、下記の5点が上げられます。

耐乾燥性が非常に強い。

無施肥栽培条件下でも生育可能。



写真3 屋上の駐車場で利用されるスノーネオプラント



写真5 スノーネオプラントの形態 単植



写真4 花壇の縁取り



写真6 スノーネオプラントの形態 混植

草丈が低く、刈り込み作業が不要。
 薄い土壌（生育基盤）でも生育可能である。
 黄色、白色、赤色などの花が鑑賞できる。
 特に、～の特性は屋上や屋根等での緑化に際して、散水や施肥などのメンテナンスを軽減できる植物として注目される特性であり、の特性については、建築物の上で緑化する場合に、生育する基盤（土や人工土壌）を薄くすることが可能なことから、建物への加重を少なくすることができます。また、他の植物のように必ずしも‘土’を使わなくてもよく、衛生面にも配慮できるという利点があります。

3 マット状セダム苗「スノーネオプラント」の特性

従来のセダムの流通形態はビニールポットでの生産、販売が主流であり、スノーネオプラントのようにマット状の商品は他にありません。

ビニールポットでは一つ一つの苗を植えこむことから、その作業に人手と時間を要し、また、個体間の土壌（生育基盤）が雨などによって流亡したり、ポットの回収や処分に関与する手間がかかること

もあります。しかし、スノーネオプラントはマット状ですので、植栽も短時間で済み、また、施工当初から地表面の大部分を覆う事が可能であることから、施工後の流亡や雑草の侵入を最小限に抑えることができます。更に、スノーネオプラントは生産地において土壌と根を遮断した状態で生産しており、根を切らない状態で施工することから、施工後の活着もスピーディーです。

スノーネオプラントには単一の種類（9種類）と数種類の混植状態のものがあり、種類によって葉の形状や色、花の色、開花期等の特性が異なることから、個々の特徴を利用し、景観に変化をつけることができます。また、異なる生育特性を持つセダムを混植したスノーネオプラントを利用することによって、環境に対する生育の危険分散も可能になります。

4 利用地域・場面

【利用地域】関東以西の積雪量が少ない地域での利用を主体にします。

関東以北の積雪がある地域についても利用可能と考えられますが、種類の選択に留意し、また、



写真7 北海道での生育状況(当社輪厚GT試験地)
左から;キリンソウ, サカサマンネグサ,
コッシニューム



写真9 ダイコンドラが利用されているベランダ



写真8 ダイコンドラの草姿
丸い葉を持ち, 匍匐茎で旺盛に広がる。



写真10 スノーエコターフ

セダムの種類とその特徴

学名 / 和名	草丈・形状	花期	花色
Sedum mexicanum メキシコマンネグサ	茎は直立, 高さ10~25cmに達する 葉は鮮やかな緑色で光沢がある	5~6月	黄色 初夏に花茎の先が伸び, かさ型に咲く
S. oryzifolium Makino タイトゴメ	茎は長く地上をはって5~7cmに達する 葉は小型で多肉質円柱状, 黄緑色	5~7月	黄色 夏に茎の先が分枝し, 一連につける
Sedum album モリムランネグサ	葉は卵型で小さく明るい緑色, 光沢がある 草丈は8~20cm葉はしばしば赤味を帯びる	6~8月	黄色
Sedum reflexum サカサマンネグサ	茎は地上をはいて30cmに達する 葉色は青白色 葉は針葉樹に似て円柱状の針型で密につく	6~8月	黄色 花茎の頂に半球状につける
Sedum acre ヨーロッパマンネグサ	茎は地上をはいて分岐して高さ4~10cmに達する 多肉質の植物で黄緑色のマット状に繁る	5~7月	黄色 小さな星形に集合する
S. spurium coccineum コッシニューム	花茎は赤味を帯び丈は10~18cmに達する 葉は丸く, 春秋の生育旺盛時には緑色をして 夏冬の休眠期は紅葉のように赤味を帯びる	7~8月	濃桃色
Sedum album シロベンケイソウ	葉は卵型で小さく淡い緑色, 光沢がある 草丈は8~20cm葉はしばしば赤味を帯びる	6~8月	白色
Sedum kamtschaticum キリンソウ	太い根茎から茎を群生し, 茎の下部は斜めに立ち群生する 草丈は5~30cm 葉は倒卵形, 長楕円形でふちに鈍きよ歯がある 冬期には地上部の葉は枯れてしまう	7~8月	黄色
Sedum sarmentosum ツルマンネグサ	茎は地をはって節から根をおろして増える 花のある茎は立ち上がって10~20cmの高さになる 葉は淡緑色ですかすかに光沢がある	5~6月	黄色

利用する場面によっては防寒，防雪対策も必要になります。

【利用場面】

スノー・ネオプラントは緑化資材として以下のような場面で使用します。

短期間に，植物で地表面を覆いたい。

屋上などの特殊な環境下や地形等の植栽条件から刈取りや散水，施肥等の管理ができず，芝生や草花のように十分なメンテナンスが必要な植物の栽培が困難である。

5 利用上の留意点

セダムはサボテンと同様に多肉質の植物で踏圧には弱いため，人等の踏圧のかからない場所に利用します。したがって，大面積での施工の場合には，作業用通路の設置が必要となります。

また，排水不良の地盤や日陰地では生育が緩慢になるため，日当たりが良い場所で，排水の良好な基盤を選択するとともに，施工する場所にも配慮が必要です。

6 おわりに

近年まで緑化に使用される植物は，芝生が代表的な植物として広く利用されてきましたが，緑化される場所が屋上や屋根，ベランダ，道路の中央分離帯など多種になるにつれて，芝生では植栽後のメンテナンスが十分できない場が多くなっています。そのような場所では，今回ご紹介したローメンテナンスが可能なマット状セダム苗スノーネオプラントの特性が生かされ，大いに活躍する場面になると考えます。また，通常の緑化を行う場合にも，ロックガーデンを演出したり，花壇の縁取りなどにも使用ができます。

「スノーネオプラント」は，その持っている独自の特性から，更に利用価値の高い緑化材料として注目され，利用されることは間違いありません。今後の緑化材料として「スノーエコターフ」や「ダイカンドラ」(マット製品もあります)と合わせてご利用下さい。

雪印 横型連続発酵槽

堆肥発酵機

沃野

Y O K U Y A

大規模経営のふん尿処理には、
機械力による省力化が欠かせません。

悪臭が周囲に漏れない密閉型

住宅混在地でも、臭気公害を気にせず堆肥処理ができます。

ランニングコストが低い

200頭処理の大型機でも、月々の電気料金は約5万円と、極めて低コストです。

商品力のある堆肥作り

悪臭や汚物感のない、十分に腐熟した堆肥が製造できます。

国や県、市町村の各種助成事業に、多くの実績があります。
お気軽にお問い合わせ下さい。

完熟堆肥を敷料としてリサイクルする技術(戻し堆肥)を提案しています。

当社の北海道研究農場、千葉研究農場では、スノーエックス・沃野システムの実証展示を行っています。



▲沃野16A設置例



▲沃野16A設置例